

「アタシの残業が減らないのはどう考えてもお前らが悪いっ！！」

(Ver.20140629・木の葉燃朗)

タイトル：アタシの残業が減らないのはどう考えてもお前らが悪いっ！！

カテゴリ：カードゲーム

人数：5人

時間：約30分

カード構成：

- キャラクターカード：5枚
- ゲーム用カード：計94枚
 - ◇ 「仕事」カード：5種類×15枚＝75枚
 - ◇ 「イベント」カード：18枚
 - ◇ 「定時」カード：1枚

ゲームの流れ：

1. 準備

プレイヤーはそれぞれ、

- キャラクターカードを1枚（任意のキャラクターを選ぶ）
- 「仕事」カードを3枚（ランダムに配布）

持ってゲームスタート。

最初に配布されたカードに「イベント」カードがあったプレイヤーは、「イベント」カードを山札に戻して再度カードを引く。「仕事」カードが3枚になるまで繰り返す。

残りの「仕事」カード、「イベント」カードは混ぜて山札とする。

山札の中に「定時」カードを混ぜる。

2. スタートプレイヤーの決定

前月の残業時間が最も多かったプレイヤーからスタート。

残業時間を思い出すと気分が悪くなるプレイヤーがいる場合、サービス残業（ただ働き）を強いられていて正しい残業時間が分からない場合、全員無職の場合などは、他の方法でスタートを決める。

3. プレイヤーごとのターン

プレイヤーは山札から1枚カードを引く。

- (1) 「仕事」カードだった場合、いずれかの行動を取る。

①仕事をこなす

引いた「仕事」カードを公開し、得点を獲得。

この時、手札に同じ種類の「仕事」カードがあれば、制限枚数まで同時に公開できる。

出した「仕事」カードの枚数と得点は下記の通り。

1枚=1点、2枚=3点、3枚=6点、4枚=10点、5枚=15点、6枚以上=21点

※こなせるのはそのターンで引いた種類の「仕事」カードのみ。手札にある別の種類の「仕事」カードは出せない。
(ただし、「残業モード」では手札にある別の種類の「仕事」カードからも出せるようになる)。

制限枚数は、「仕事」とキャラクターの組み合わせで異なる。得意な「仕事」は多い枚数をこなせる。苦手な仕事は少ない枚数しかこなせない、あるいは1枚でもこなせない(「自分にはできない仕事」)。

【仕事とキャラクターの関係】

書いてある数字が同時にこなせる最大枚数。×はそのキャラクターにできない仕事

キャラクター→ ↓仕事	A エイギョー	B サポート	C クリエイター	D ヒシヨ	E ケイリ
①事務	×	3	2	4	∞
②外出	∞	×	4	3	2
③お客様	4	∞	×	2	3
④企画	3	2	∞	×	4
⑤コミュニケーション	2	4	3	∞	×

②報・連・相

他のプレイヤーに「仕事」カードの交換を持ちかける。

自分が出せる「仕事」カードは1枚~3枚。そのうち、最低1枚は公開する。そのターンで引いたカードも出せる。

交換したい仕事の種類は希望が出せる。「〇〇の仕事が欲しい」、「〇〇以外ならなんでもいい」など。ただし枚数は指定できない。次の手番のプレイヤーから、応じるか拒否するか意思表示をする。

応じるプレイヤーは、指定にあわせて1~3枚のカードを出す。そのうち、最低1枚は公開する。

複数のプレイヤーが応じた場合は、呼びかけたプレイヤーが誰と交換するかを決める。

全員が呼びかけを拒否した場合は、「仕事」カードを手札に戻して終了。

③ちょっと休憩（パス）

引いた「仕事」カードを、手札に加えて終了

(2)「イベント」カードだった場合

「イベント」カードを公開し、指示に従う。公開したイベントカードは1点となる。

「イベント」カードでは、カードを引く指示が出る場合がある。この時に引いたカードが「イベント」カードだった場合、イベントの効果はなく、公開して1点となる。

【イベント】

- ・ **バカ上司 2 枚** 全員の手札から1枚ずつ「仕事」カードを裏向きに出し、よく混ぜて一人1枚ずつ受け取る
- ・ **頼れるパートのおばちゃん達 2 枚** 手札にある「仕事」カードから、1種類選んで必ずこなす
◆自分のスキルにかかわらず何枚でもこなせる（自分にできない「仕事」カードでも良い）
- ・ **絶好調 5 枚** 手札にある「仕事」カードの中から、自分のスキルに従って1種類をこなしてよい
- ・ **アタシに任せろ小娘ども！ 2 枚** 特定の「仕事」カードを宣言◆その「仕事」カードを持っている他のプレイヤーからすべて受け取る（出すと0になるプレイヤーは1枚は残す）◆その仕事を、自分のスキルに従って必ずこなす
- ・ **親会社から来たアホ役員 1 枚** 全員の手札を回収◆よく混ぜて、自分から時計回りに1枚ずつ、カードがなくなるまで配る
- ・ **口先だけのインチキ先輩 2 枚** 現時点で、自分が一度にこなした枚数が最も多かったカードが無効（0点）になる
- ・ **使えない後輩 2 枚** 手札から3枚カードを引く（「イベント」カードは公開して1枚1点）
◆引いた「仕事」カードと手札から、任意の種類の仕事を、自分のスキルに従ってこなすことができる
- ・ **やる気がなさ過ぎる同僚 2 枚** 他のプレイヤーから、1枚ずつ「仕事」カードを受け取る（1枚しかないプレイヤーは出さない）
◆受け取ったカードと手札から、任意の種類の仕事を、自分のスキルに従ってこなすことができる

4.「残業」モードとゲームの終了

山札から「定時」カードを引いたプレイヤーが出ると、「残業」モードになる。

「定時」カードを引いたプレイヤーは、「定時」カードを公開して1点を得る。その後もう一度山札からカードを引き、ターンを行う（ただし、イベントで「定時」カードを引いた場合は、次のプレイヤーのターンになる）。

「残業」モードでは下記のふたつが可能になる。

- ①「仕事」をこなす際に、そのターンで引いた種類の「仕事」カードだけではなく、手札にある別の種類の「仕事」カードからも出せるようになる。
- ②「定時」カードが出た後に手札の「仕事」カードをすべてこなしたプレイヤーが出た時点で終了となる。

「仕事」カードがなくなるよりも先に山札がなくなった場合は、最後の山札を引いたプレイヤーのターンが終わった時点で終了となる。

※「定時」カードが出る前に、すべての「仕事」カードをなくしたプレイヤーについてこのプレイヤーは「早退」となり、ゲームから脱落（点数0点で終了）となる。

5. 勝利判定

こなしした「仕事」カードの点数をすべて足す。

手札にある（終わらなかった）「仕事」カードの分だけ点数からマイナス。マイナス点は残ったカードによって下記の通り。

1枚＝－1点、2枚＝－3点、3枚＝－6点、4枚＝－10点、5枚＝－15点、6枚目＝－21点
7枚目以降は1枚につき－2点（7枚＝－23点、8枚＝－25点、・・・